

2024年4月21日

「はじめてのキリスト教」説教要約

主が導き入れる良い地

(申命記8:1-10)

一、不安定な世界情勢の中で

【当日の配信ビデオをご視聴ください】

二、イスラエルに語られたこと

1節をご覧ください。〈私が今日あなたに命じるすべての命令を、あなたは守り行わなければならぬ。そうすれば、あなたがたは生きて数を増やし、主があなたがたの父祖たちに誓われた地に入って、それを所有することができる。〉とあります。このことばは、いつ、どこで、だれが、だれに語られたことばなのでしょう。まず「いつ」ですが、イスラエルの民がエジプトを出た時を起点として、第四十年の第十一の月の一日です。次に「どこ」ですが、ヨルダン川の東側にあるモアブの地です。「だれが」語ったのでしようか。百二十歳になったモーセです。「だれに」語ったのでしようか。新しい世代のイスラエル人たちにです。そ



う設定で、申命記は語られています。

申命記で語られていることは、モーセがイスラエルとその民に語ったことばです。ですがもちろん、そこに留まることはありません。「私共にも語られています」と思われるでしょうが、そのとおりです。

三、信仰生活になぞらえて読む

主イエス・キリストを信じることは、どのような生活なのでしょう。そのことを、今回のテキストから読み取ることができると思います。と言いますのは、主はモーセと言うリーダーを立てて、イスラエルをエジプトの奴隷状態から救出し、四十年かけて約束の地カナンへ導いたからです。「四十年」は、必ずしも神の定めの間と考えなくてもかまいません。不信仰にならなければ、すぐにでも約束の地に入ることでもできたと、私は考えます。いずれにしても、現実としては、出エジプトから約束の地に入るまで四十年かかったわけです。主はその四十年において、イスラエルを様々に取り扱われました。

2節をご覧ください。〈あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを歩ませられたすべての道を覚えていなければならぬ。それは、あなたを苦しめて、あなたを試し、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。〉とありま

す。このことばを、すでに信仰を持っている方は自分に当てはめてみてください。神は主イエス・キリストによって、「エジプト」という奴隷状態から罪の奴隷状態から救出してくださいました。私共にとって最大の罪は、創造主なる神から離れていることです。ですが神は、救い主イエス・キリストを遣わされ、この方を信じるだけで救われる道を造ってくださいました。たしかに信じるだけで救われます。ですがその後、神は私たちを取り扱われます。主イエス・キリストを信じる信仰生活は結構厳しいものです。例えば、喜びだけを求めていたら押しつぶされます。キリストを信じて、喜びがやってくるようになります。ですが、信じることのゆえの苦しみもやってまいります。「神さま、なぜ、このような試練を許されるのですか」というたましいの叫びも経験することでありましょう。

なぜなのでしょう。3節をご覧ください。〈それで主はあなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの父祖たちも知らなかったマナを食べさせてくださった。それは、人はパンだけで生きるのではなく、人は主の御口から出るすべてのことばで生きるといふことを、あなたに分からせるためであった。〉とあります。キリストを信じますと、不思議と、世の中のもので満足することができなくなります。それまで

は趣味に没頭して満足していた人が、趣味を楽しむことはできたとしても、満足できなくなります。なぜでしょうか。神のすばらしいみことばと、来たるべき世の力を味わったからです。「人は主の御口から出るすべてのことばで生きる」ということを味わった人は、神を知る前の状態に戻ることはできません。5節をご覧ください。〈あなたは、人がその子を訓練するように、あなたがたの神、主があなたを訓練されることを知らなければならぬ。〉とあります。主は信仰を持った者を訓練されます。だから、忍耐を働かせることが必要です。そうすれば、成熟した、完全な者となります。神の義という平安の実が結ばれるようになります。

そして、主は私共を良い地に導き入れようとされていることを忘れてはいけません。6節より8節です。〈あなたがたの神、主の命令を守って主の道に歩み、主を恐れなさい。あなたの神、主があなたを良い地に導き入れようとしておられるからである。そこは、谷間と山に湧き出る水の流れや、泉と深い淵のある地、小麦、大麦、ぶどう、いちじく、ざくろのある地、オリブ油と蜜のある地である。〉と。

もう一度申しますが、神は、すなわち父・子・聖霊なる神は、キリストを信じる者を良い地に導き入れようとされています。